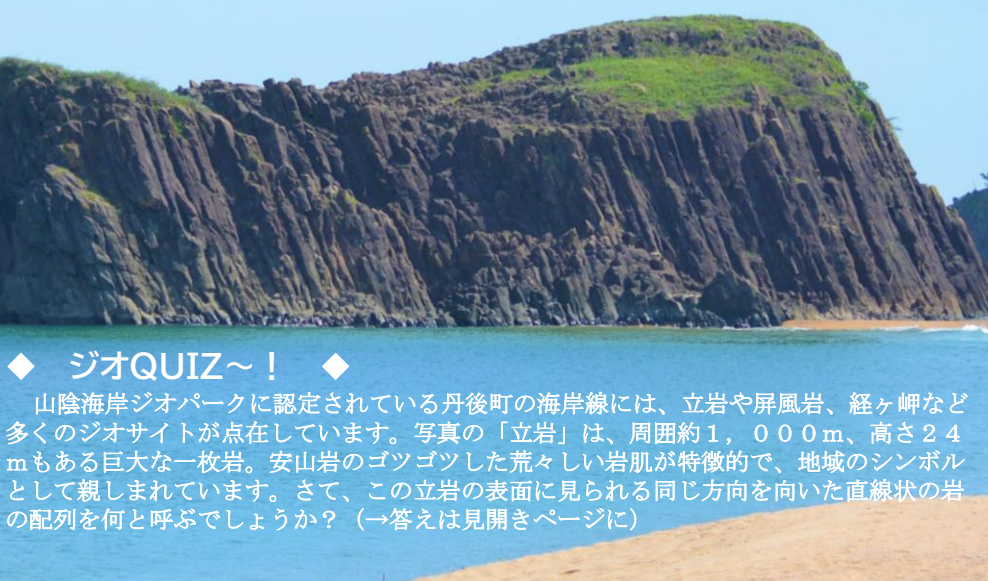


丹後市民局

ルックルック！

NEWS
R3.8月号



◆ ジオQUIZ～！ ◆

山陰海岸ジオパークに認定されている丹後町の海岸線には、立岩や屏風岩、経ヶ岬など多くのジオサイトが点在しています。写真の「立岩」は、周囲約1,000m、高さ24mもある巨大な一枚岩。安山岩のゴツゴツした荒々しい岩肌が特徴的で、地域のシンボルとして親しまれています。さて、この立岩の表面に見られる同じ方向を向いた直線状の岩の配列を何と呼ぶでしょうか？（→答えは見開きページに）



↑ 丹後市民局ルックルックNEWSのバックナンバーはこちら

丹後町の人口		
	R3.7月末	前月比
0-14歳	432	0
15-64歳	2,277	△5
65歳-	2,142	△2
計	4,851	△7

地域おこし協力隊丹後町担当の大木史帆が、丹後町を応援する人や魅力的な場所を紹介するコーナー

丹後町な場所

夏休みに通った「後ヶ浜海岸」ドボチャン岩とサッカン岩は順番待ちでしたね～



夕日がキレイな「後ヶ浜海岸」

今回の丹後町な場所は「後ヶ浜海岸」です。「丹後町な人」で登場していただく今出さんが小さい頃から遊んでいた海岸だそうです。

ここでの懐かしい思い出があるからこそ、この地でお店を継ぎ多くのお客さんに丹後町に来てもらえるような商品作りにも繋がっているのではないのでしょうか。この日も夕日がとても綺麗でしたよ。

トレーニングが趣味の地域づくり支援員吉岡秀真が「丹後町な体操」を紹介するコーナー！

たんご健康体操

第15回「向日葵（ひまわり）の型」

今回は朝からサクサク活発に動ける体操を紹介します。

- ①「気をつけ」の姿勢がスタートポジションです。
- ②1回屈伸運動をします。
- ③両手を真上に挙げます。顔も上を向ってください。
- ④両手を大きく広げ、脚も片側を肩幅程度に開きます。（次は足を逆側に開いてください）
- ⑤スタートポジションに戻って1回です。



②の動作

これを毎朝6回行い、最後に深呼吸をして呼吸を整えてください。朝は軽い脱水症状になっているので水を一杯飲んでから行うことをお勧めします。
ヒトは日光を浴びると体内で「ビタミンD」を生成します。このビタミンDは骨の形成を助ける作用や、免疫力UPなど、人体の健康に必要な栄養素です！
また、朝日を浴びると脳が活性化し、スッキリした気分ので一日のスタートを切れます。消化吸収も促進されますので、朝ご飯をしっかり食べて活発な一日を過ごしましょう！

（地域づくり支援員 吉岡秀真）



③の動作



④の動作

丹後町な人



今出 龍 さん

今回の丹後町な人は、今出 龍(りゅう)さんです。
今出さんは間人にある 地産食堂ひさみ」を長きに渡り経営されています。
3年前には 味工房ひさみ」もオープンし、丹後では有名なサバのへしこやその他にもドリンクやプリンなどを販売されています。
丹後町は飲食店が少なく前職で飲食店をやっていた私にとって、ここでお店をするのは大変難しいのではないかとウターンして住めば住むほど感じていました。
そんな中でひさみさんはいつも賑わっている雰囲気があり、ここ丹後町でお金を生み出すヒントを伺えないかと声をかけさせて頂きました。

間人の敏腕洋食シェフ *今出 龍 さん*

お店はいつからされていますか？何故ひさみという名前なんですか？と尋ねると、今の場所では平成5年くらいに移転オープンしたんですが、その前は母と祖父が違う場所で戦後から洋食屋をやっていました。母と祖父の名前を一字ずつとって「ひさみ」になったようです。と今出さん。お客さんからしたら慣れ親しんだ名前ですが、今出さんはお母さんと祖父の名前をずっと背負い営業されているんですね。
名前だけでなく受け継ぎやっているのがAランチ、Bランチなどの洋食です。観光客に人気なのは海鮮丼などですが、地元の方はひさみと言えど洋食というイメージが強いようです。ひさみさんはへしこも有名ですがどういった経緯でへしこを作ろうと思われましたか？と尋ねると、間人は蟹が有名ですが、それ以外でも何か目玉になるものはないかと考えていたところ、丹後でもサバが多く獲れる時代から祖母が作っていた浅漬のへしこが知り合いの間で好評だったので、売れるかもしれないと感じていました。それから2、3年をかけて売り出す準備をし、思い切つてへしこ工房を作ることになりました。」と今出さん。



(地域おこし協力隊 大木 史帆)

◆ジョQUIZの答え ⇒ 「柱状節理 (ちゅうじょうせつり)」

立岩に見られるような規則性のある柱状の岩の配列を「柱状節理」と呼びます。立岩の柱状節理は国内最大規模で、周囲約1,000m、高さ24mにわたって柱状節理が美しい巨岩がそそり立っています。

◆訂正とお詫び

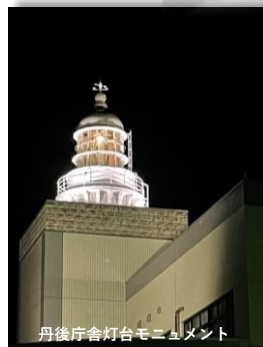
丹後市民局NEWS第27号の記事に誤りがありました。「丹後町な人」で紹介した瀬川信一さんの出身大学を「京都大学」と記載しておりましたが、正しくは「京都教育大学」です。深くお詫びし、訂正させていただきます。

Tango 地域 news

沖ギスのセリの様子(間人漁港衛生管理型荷捌所)



「まるっば間人プロジェクト」
始動！
立岩に代表される 間人のローケーションや間人漁港衛生管理型荷捌所で水揚げされる豊富な海産物といった地域資源を活用し、新しい生活様式に沿った形で、地域内外の方々の交流を促進し、間人地域のにぎわいづくりに取り組む まるっば間人プロジェクト」が始動します。
当プロジェクトは農林水産省の交付金を活用し、令和3年度から令和5年度までの3年間、間人地域の活性化や水産振興に向けた様々な事業に取り組みます。
令和3年8月10日に間人区長を代表とする まるっば間人プロジェクト推進協議会を立ち上げ、現在、様々なプロジェクトを企画しています。



丹後庁舎灯台モニュメント

丹後庁舎 灯台モニュメント
のライトアップを実施
平成7年に竣工した丹後庁舎は、建物全体を巻貝形に設計したり、正面玄関の屋上に経ヶ岬灯台を模したシンボル実物の約6割の大きさの冠するなど、海のまちにふさわしい建物となっています。
東京2020オリンピックが無観客での開催となり、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況にあります。
この閉塞感を払拭し、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願い、市民の方々の心に灯を点し、明るい笑顔と前向きな気持ちになっていただければとの思いから、丹後庁舎灯台モニュメントのライトアップを実施しました。

Tango 元気 news

JA京都間人支店女性部

～ ぐらしの活動事業を実施中 ～



竹野集出荷場カシ広場の花壇整備

JA京都間人支店女性部と間人支店職員が協力し、ぐらしの活動事業の一環として、JA京都竹野集出荷場付近の景観整備を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況の中で、地域の活性化と、少しでもコロナに負けない明るい気持ちになっていただくために、花を植栽しています。
令和3年7月には、丹後小学校2年生と協力し、東京2020オリンピックをモチーフとしたかかしを設置するとともに、ひまわりとメランポジウムの苗を植栽し、現在見ごろを迎えています。
8月にはコスモスの種を蒔きましたので、開花が待たれます。